

でら〜れ

DERRARE

自走型ティルト車いすのベーシックモデル

取扱説明書



この取扱説明書は、商品を安全に使用していただくため、正しい使用方法や、注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みください。



カナヤマ HUMAN SOLUTION **マシナリー株式会社**

〒938-0801 富山県黒部市荻生388-1 TEL 0765-57-3888 FAX 0765-57-3266

製品のチェック

以下の点は、出荷時にチェックしていますが、搬送中のトラブルもありえますので、必ずお確かめください。

- 四輪とも車輪が床に接地していますか？
- ティルトレバーで、座面の上げ下げができますか？
- リクライニングダイヤル（菊座金）で、バックサポートの角度調整ができますか？
- ティルトレバー・リクライニングダイヤル、それぞれ任意の位置で固定できますか？
- 前輪・後輪ともに、スムーズに回転しますか？
- リクライニングダイヤルが、しっかりと固定されていますか？

本書の目次

調整は正しい順序で行われることが大切です。最初に、正しく座る姿勢に調整し、次に、運転目的に合ったバランスに調整します。座る姿勢が変わると、車いすのバランスも変わるので、この順序を守ってください。

安全にご使用いただくために……………	2	制動用ブレーキ……………	8
警告……………	2・3	駐車用ブレーキ……………	8
注意(安全に介助されるために)……………	4	フットサポートの高さ調整……………	9
注意(飛行機にご搭乗される場合)……………	4	フット・レグサポートの着脱……………	9・10 (スイングアウト仕様)
各部の名称と機能……………	5	アームサポートの高さ調整と着脱……………	10
座面奥行き調整……………	6	ティッピングバーの高さ調整と着脱……………	11
シート角度調整……………	6	車いすの保守・点検……………	11
バックサポート角度調整……………	7	車いすの廃棄について……………	12
背シートのベルト調整……………	7	ガススプリングについて……………	13
		仕様……………	14

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を説明してあります。

■表示内容を無視して、誤った取り扱いをした場合に生じる危険や損害の程度を説明してあります。

**警告**

この表示欄は、『死亡または重傷に至る可能性が想定される』内容です。

**注意**

この表示欄は、『傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される』内容です。

■お守りいただく内容を説明してあります。



この表示欄は、してはいけない『禁止』内容です。



この表示欄は、していただく『強制』内容です。

■操作のポイントを説明してあります。

P 要点

この表示は、『正しい操作のしかたや点検、調整上のポイント』内容です。

**警告**

- ⊙ **こわれた状態や異常があるときは使用しないでください。**
こわれた状態や点検せずに異常のあるまま使用すると、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ⊙ **勝手に改造しないでください。**
改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させたりして事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
また、改造や補助動力装置を装着しますと、保証の適用を除外されます。
整備が必要なときは、販売店にご相談ください。
- ⊙ **調整作業に不安があるときは調整しないでください。**
部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させる恐れがあります。
必ず乗る前に点検してください。
- ⊙ **キャストや後輪（タイヤ）の着脱後、固定を確認せずに使用しないでください。**
キャストや後輪（タイヤ）が外れ、転倒の恐れがあります。
- ⊙ **落下、転落しないように十分気をつけてください。**
事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ⊙ **不十分な調整状態で使用しないでください。**
身体に負担をかけたり、褥瘡（床ずれ）などになる恐れがあります。
- ⊙ **50℃以上の高温になる場所（炎天下の車内、暖房器具の近く）におかないでください。**
高温になり、火災ややけどなどの恐れがあり、また部品を著しく傷める恐れがあります。
- ⊙ **車いすに巻き込まれやすい服装を避けてください。**
キャストや後輪（タイヤ）などに巻き込まれ、転倒によるけがの恐れがあります。



- ① 移乗時はティルトさせたままフットプレートに立ったり乗ったりしないでください。
車いすを損傷させたり、転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 掃除するときなどに後輪（タイヤ）やハンドリムに、ワックスや油分を付けないでください。
ワックス等の油分が付くと、後輪（タイヤ）やハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 他の乗り物につかまりながらの移動は危険ですのでやめてください。
車いすを損傷させたり、転落、転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 下り坂などでのスピードの出しすぎは危険ですのでやめてください。
衝突や転倒などによる事故やけがなどが起きやすく危険です。
- ① 駐车用ブレーキはスピード調整に使用しないでください。
駐车用ブレーキは停車時、駐車時のみの専用のブレーキです。
駐车用ブレーキでスピード調整すると後輪（タイヤ）がロックし、転倒によるけがの恐れがあります。
使用者がスピード調整をする際は、必ずハンドリムを使用してください。
介助者がスピード調整をする際は、必ず制動用ブレーキを使用してください。
- ① 一般道以外の荒地、悪路には入らないでください。
車いすを損傷させたり、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 凹凸の激しいところ（踏み切り、歩道の段差や溝）などは自力走行を避けてください。
キャストや後輪（タイヤ）が挟まったり、フレームが損傷したり、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
●介助してもらいましょう。
- ① 乱暴な取り扱い、無理な取り扱いをしないでください。
車いすを損傷させ、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 夜間走行は避けてください。
事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 滑りやすいところは自力走行を避けてください。
降雪、積雪、凍結路、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などはスリップして、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① ペットを連れて使用しないでください。
ペットに引きずられ、衝突や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 傘をさして使用しないでください。
傘をさしての片手操作は不安定で危険です。事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 未使用時の車いすに幼児を近づかせないでください。
キャストや後輪（タイヤ）に巻き込まれたり、転倒したり、車いすの下敷きになるなど、けがの恐れがあります。
- ① 運動機能が低下するものを摂取したときは自力走行しないでください。
事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① ウィリーは十分練習するまで一人ではやらないでください。
転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① エスカレーターの使用は避けてください。
キャストや後輪（タイヤ）が巻き込まれたりして、事故や転倒などによるけがの恐れがあります。
- ① 急坂などの自力走行は避けてください。
転倒などによるけがの恐れがあります。



注意

- ❗ **点検、整備を怠ると故障や事故などによるけがの恐れがあります。**
日常の点検、整備、および1カ月に1度各部の点検、整備をしてください。
- ❗ **上半身の不安定な方はベルトの装着をしてください。**
- ❗ **移乗時、停車時、未使用時は駐車用ブレーキをかけてください。**
急に動き出して、落下、転落、転倒などによる、事故やけがの恐れがあります。
- ❗ **車いすに乗っている時は、歩行者と見なされます。必ず歩道を通りましょう。**

安全に介助されるために

- ⊘ **回転部、可動部には触れさせないでください。**
キャスタや後輪（タイヤ）などに巻き込まれて、けがの恐れがあります。
- ⊘ **素足で使用しないでください。**
けがの恐れがあります。
靴下などを履き、踵のある履物を履いて使用してください。
- ⊘ **タイヤを握って駆動しないでください。**
後輪（タイヤ）とブレーキの間に手を挟まれる恐れがあります。
ハンドリムを握って駆動してください。
- ⊘ **低温（-5℃以下）での使用、保管はしないでください。**
各部品が損傷する恐れがあります。
- ❗ **面ファスナーは確実に取り付けてください。**
固定力が低下し、調整状態が変わります。
- ❗ **面ファスナーに付着した糸屑などは取り除いてください。**
固定力が低下し、調整状態が変わります。



注意

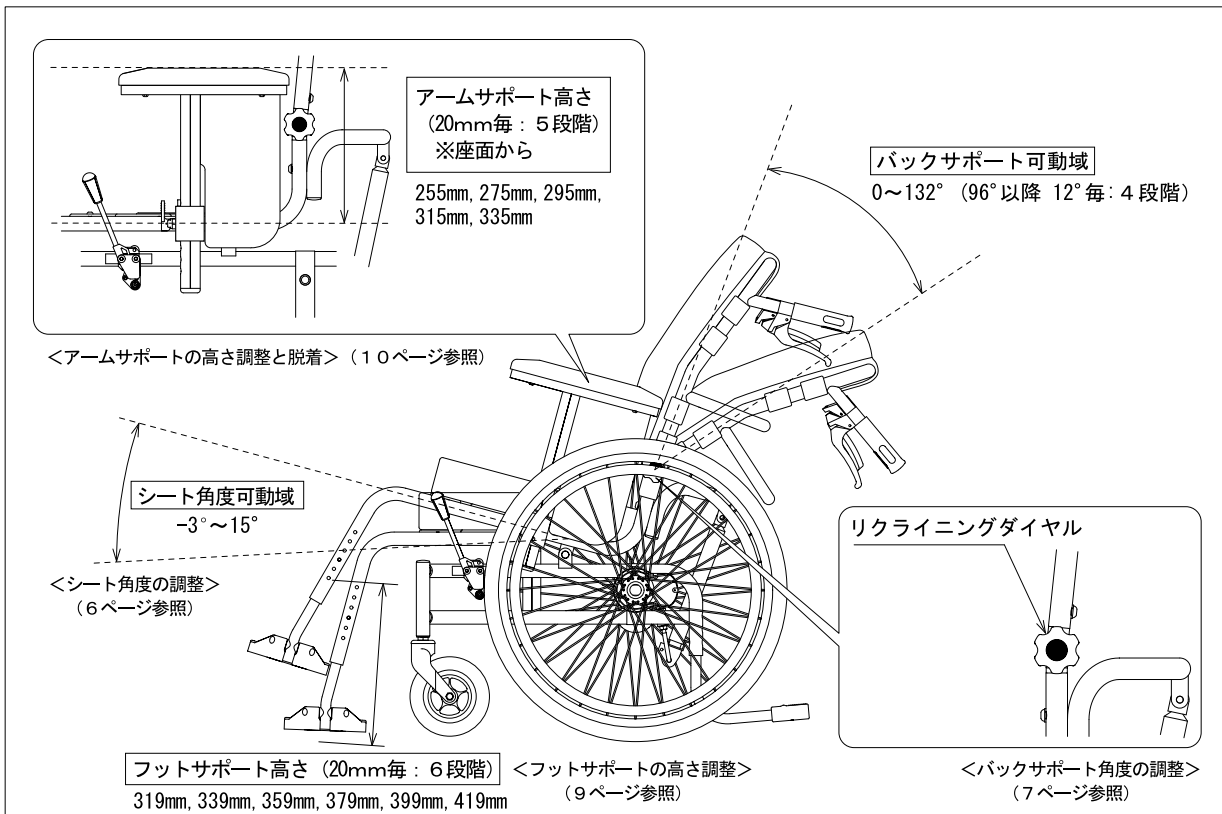
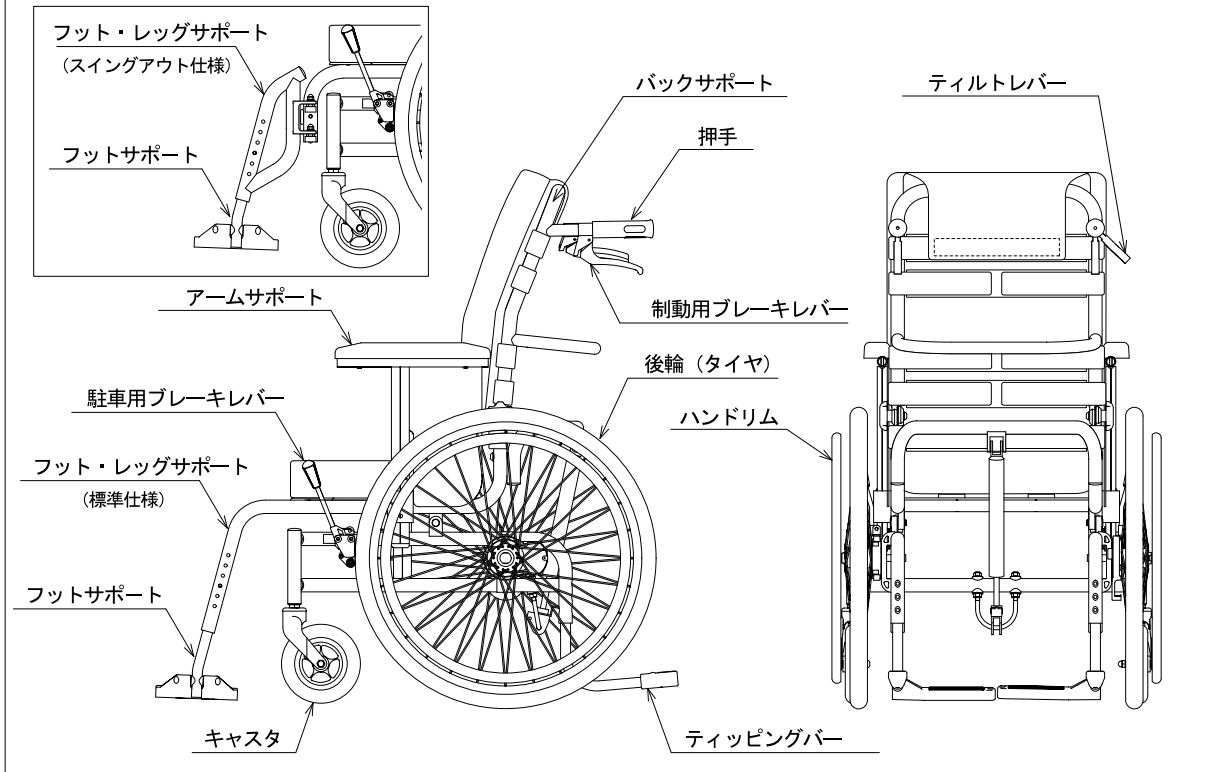
飛行機にご搭乗される場合

- ❗ **事前に、航空会社や旅行代理店へご相談ください。**
車いすを旅先へ持っていかれる場合は、必ず事前に利用される予定の航空会社、又は旅行代理店へご相談ください。
特に、ティルト・リクライニング車など、ガススプリング（ガスダンパー）を使用している車いすは、飛行機への搭載可否の判断に日数を要する場合があります。
事前に相談をせずに旅行当日に空港へ行った場合、航空会社での確認作業に時間を取られたり、ご希望の便に間に合わなかったりします。
最悪の場合、車いすの搭載許可が下りず、旅行そのものを取り止めなければならない事態になる可能性もあります。日程に余裕を持って早めに手続きを済ませ、快適なご旅行をお楽しみください。
本製品に使用されているガススプリング（ガスダンパー）には、「航空機輸送危険物非該当証明」が発行されております。下記のサイトからプリントアウトして、利用される予定の航空会社、又は旅行代理店へ持参の上、ご相談ください。（KYP品番：A1150-00161）

<http://www.lappo.com>

各部の名称と機能

※標準仕様とスイングアウト仕様の異なる点は、フット・レッグサポートの着脱機能の有無です。



座面奥行きの調整

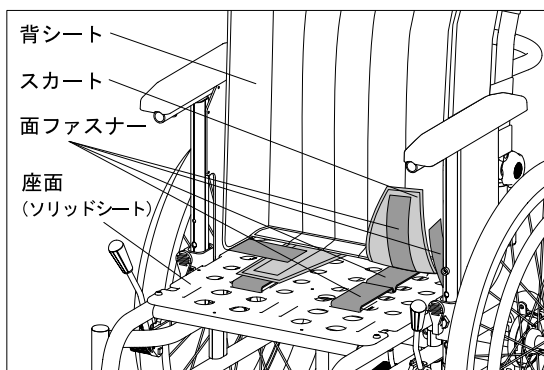
背シートから延長しているスカートと、座面（ソリッドシート）は、面ファスナーで固定されています。

※ 出荷時は、座奥40cmに設定されています。

スカートの位置調整によって、奥行き調整ができ、お尻の形にフィットした安定した座位が保てます。

座り心地の良い座面奥行きが決まったら、面ファスナーでしっかりと固定します。

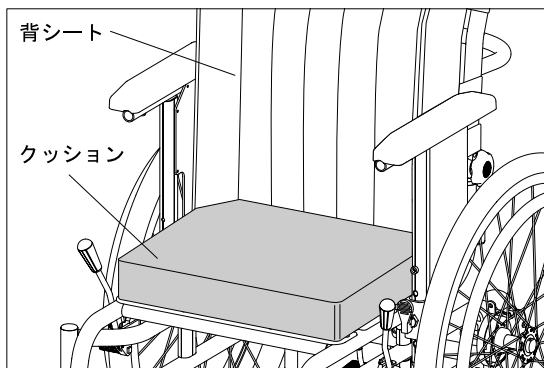
座奥の調整が終わった後に、背もたれとの間に隙間がないようにクッションを装着してください。



Ⓟ 要点

実際に、車椅子に乗って操作しながら、動き易い位置や、上半身の安定感が保てる位置、座り心地の良い位置などを感覚で掴んでください。

必要であれば、背シートのベルトの張り具合や、座面や背もたれの角度を変えたりしながら調整してください。



⚠ 注意

● 傾斜等の不安定な場所での調整は、避けてください。

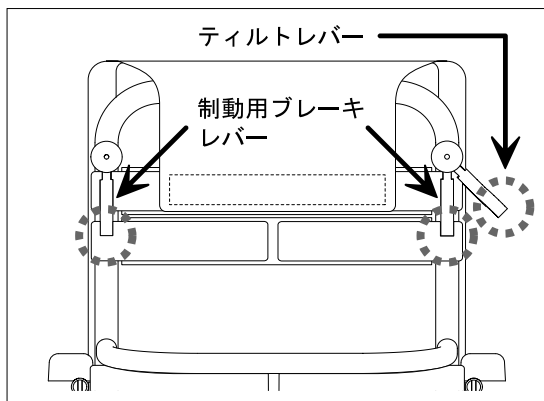
シート角度の調整

シート角度は、右側の押し手の制動用ブレーキの隣に付いたティルトレバーで調整してください。

適切な角度調整を行うために、ティルトレバーの操作は、必ず介助者に操作してもらって下さい。

⚠ 注意

- シート角度を調整する際には、必ず駐車用ブレーキを掛けてください。
- 傾斜等の不安定な場所での調整は、避けてください。



■ シート角度の調整の利点

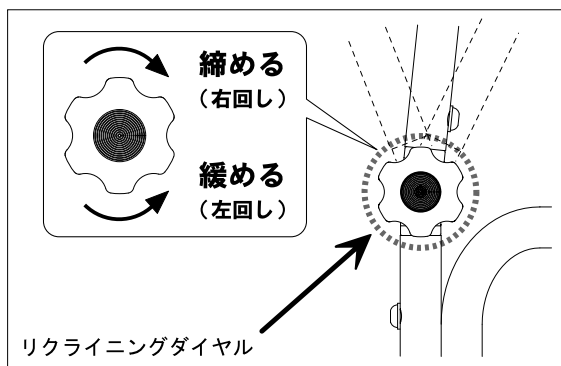
- 操作（足こぎ・手こぎ）しやすい姿勢に合わせることができる。
- 休憩姿勢がとりやすい。
- 食卓や洗面台へのアプローチがしやすい。
- 座面側から姿勢を整え、姿勢の安定、座位姿勢での床ずれの大きな原因となる前滑りの防止や、臀部の除圧効果が格段に高まります。

バックサポート角度の調整

バックサポート角度は、車椅子の側面に付いているリクライニングダイヤル（菊座金）を回すことによって、 12° 刻み間隔（ $96 \sim 132^{\circ}$ ）で調整することができます。

■バックサポート角度の調整による利点

利用者の背中中のラインに沿った適切な角度調整により、骨盤の位置を安定させることができると同時に、上半身をしっかりと立たせることができます。骨盤の位置が安定することによって、体幹、上肢、頭部が動きやすくなるので、食事や作業、会話などがスムーズに行えます。



注意

- リクライニングダイヤルの操作時に、バックサポートが急に倒れたりすることがありますので、くれぐれもご注意ください。
- ティルトレバーと同様、リクライニングダイヤルを操作する際にも、駐車用ブレーキを掛けてから行ってください。
- また、傾斜等がある不安定な場所でのダイヤル操作も、ご遠慮下さい。
- ダイヤルの締め忘れにもご注意ください。転倒や故障の原因となります。

背シートのベルト調整

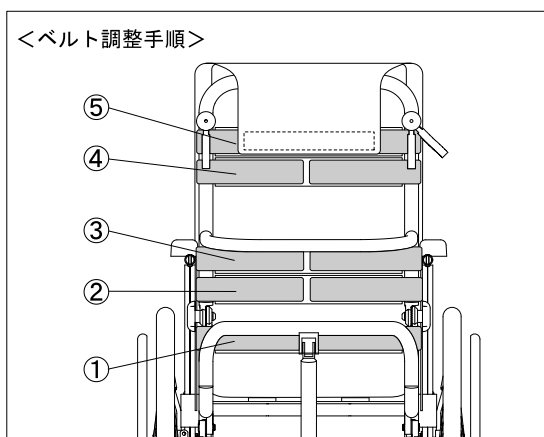
背シートの後ろにある5本のベルトを使って、利用者の背中中の形に合うように調整してください。

①から⑤（下のベルトから上のベルト）の順番でベルトの張り具合を調整すると、座り心地の良い状態にすることができます。



注意

- ベルトを調整する際には、駐車用ブレーキを掛けてください。
- ベルトの調整は、下のベルトから上へという順番で行ってください。



制動用ブレーキ

制動用ブレーキは、介助者が車いすの速度を調節するために使用するブレーキです。

坂道や濡れた路面などで、介助者がスピードをコントロールする時に効果を発揮します。

制動用ブレーキは、停車・駐車を目的としたブレーキではありません。

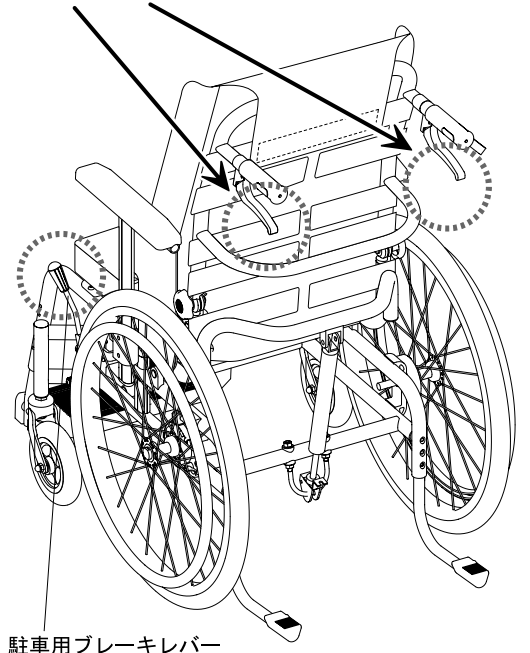
停車・駐車する際には、必ず駐車用ブレーキを使用してください。



警告

- 速度調整以外の目的で、制動用ブレーキを使用しないでください。
- 停車・駐車する際には、駐車用ブレーキを使用してください。

制動用ブレーキレバー



駐車用ブレーキレバー

駐車用ブレーキ

使用者、介助者共に、駐車用ブレーキは、停車・駐車する時のみご使用ください。

車いすの速度調節をする際には、使用しないでください。転倒や故障の原因となります。

速度調節をする場合、使用者は、ハンドリムを使用してください。介助者は、制動用ブレーキを使用してください。

< 駐車用ブレーキの使用方法 >

駐車用ブレーキレバーをタイヤ側に向けて倒すとロックが掛かり、駐車用ブレーキレバーの位置を元に戻すとロックが解除されます。

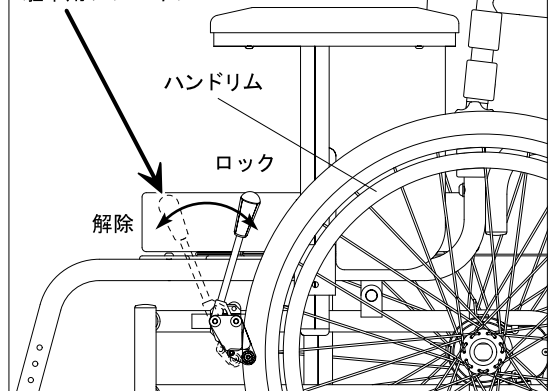
< 駐車用ブレーキの調整方法 >

駐車用ブレーキを固定しているネジを緩めて、駐車用ブレーキ本体を前後にスライド移動させながら、適切な位置に合わせます。

駐車用ブレーキの適切な位置は、ブレーキを掛けた時に5mmほどタイヤに食い込む位置です。

適切な位置に調整することができたら、駐車用ブレーキを固定しているネジを締め付けてください。

駐車用ブレーキレバー



※調整には以下の工具をご用意ください。
スパナ（8mm）



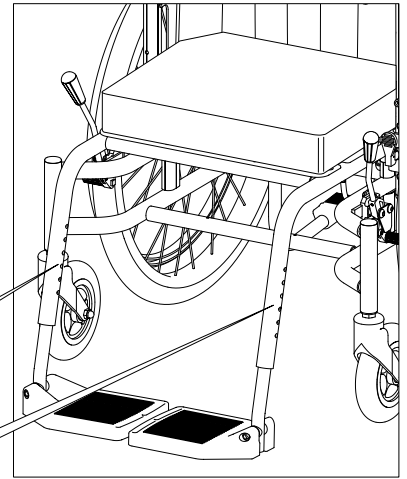
注意

- ブレーキの調整の際には、手を挟まれないように注意してください。
- 走行の際には、駐車用ブレーキのロックを必ず解除してください。
- 停車・駐車以外の目的で、駐車用ブレーキを使用しないでください。

フットサポートの高さ調整

フットサポートの高さ調整は、工具でボルトを外した後、フットサポートを上下に動かしながら、使用者の脚の長さにあった高さ（穴位置）に調整します。

※ 出荷時のフットサポートの穴位置は、中央に調整されています。



※調整には以下の工具をご用意ください。
六角レンチ（4mm）、スパナ（10mm）

フット・レッグサポート（標準仕様）

フットサポート用穴
（6段階）

止め具

フットサポート

フットサポートの高さ調整の手順

- ①フットサポートをフット・レッグサポートに差し込む。
- ②適当な高さに調整し、ボルトで締める。
（止め具はフットサポートの中に入れる）



注意

- フットサポートの高さを、上から1、2番目の穴位置に調整した場合、フットサポートと地面との差が大きくなるので、（フットサポートに体重をかけ過ぎて）前方へ転倒しないようにご注意ください。
- 走行時は、フットサポートの高さが地面から5 cm以上になるように調整してからご使用ください。5 cm以下だと、凹凸路面や障害物の上を通る際に、フットサポートに当たり、転倒する恐れがあります。

フット・レッグサポートの着脱（スイングアウト仕様）

スイングアウト仕様をご使用の場合は、以下の手順でフット・レッグサポートを着脱することができます。

<取り付け方>

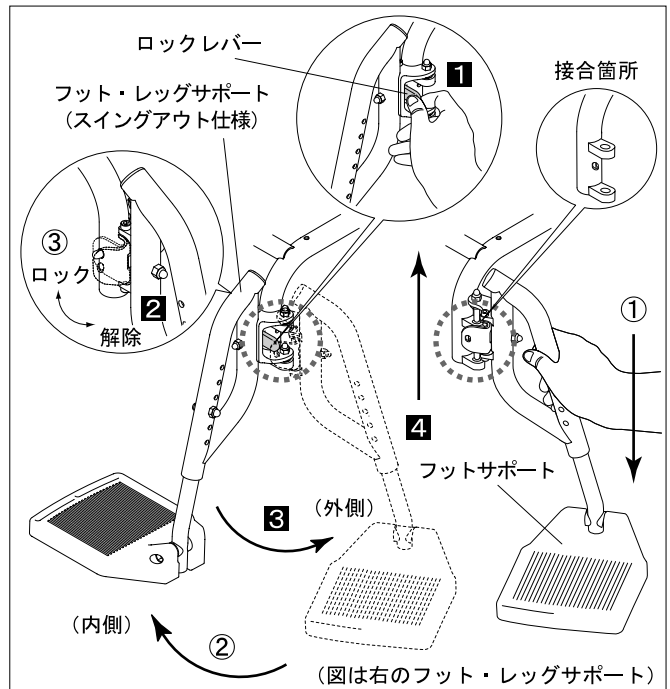
- ①フット・レッグサポートを本体の接合箇所に取り付けます。
- ②フットサポートを本体に取り付けた状態で、フットサポートを内側へ廻します。
- ③カチッと音が鳴り、ロックが掛かっている状態を確認することが出来たら、取り付け完了です。

<取り外し方>（スイングアウト）

取り付け方とは、逆の手順です。

- ①ロックレバーを指で押さえます。
- ②ロックが解除されていることを確認します。
- ③ロックレバーを指で押さえたまま、フット・レッグサポートを外側へ廻します。
- ④外側へ廻したままの状態、フット・レッグサポートを引き上げると、本体から外すこと（スイングアウト）が出来ます。

※スイングアウト仕様のフットサポートの高さ調整の方法は、標準仕様のフットサポートと同じです。



**注意**

- スイングアウトした際は、必ずフット・レッグサポートを取り外した状態で移乗してください。

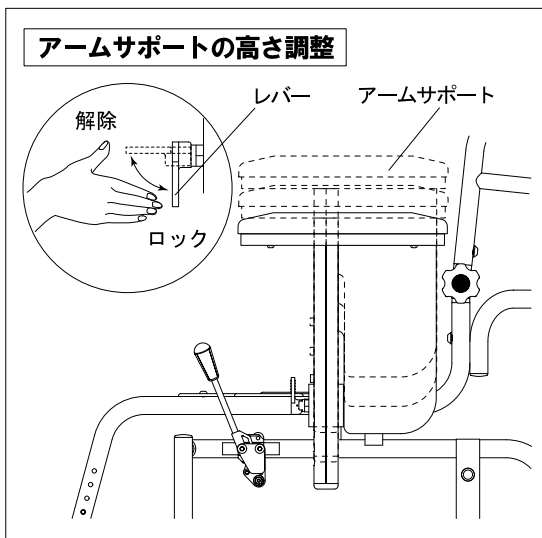
**警告**

- ロックに、手や足、衣服を挟まないようにご注意ください。

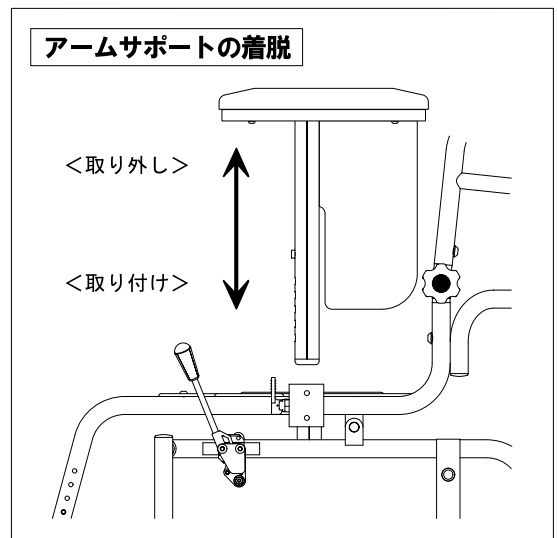
アームサポートの高さ調整と脱着

アームサポートの高さ調整は、レバーのロックを解除して、アームサポートを上げ下げしながら高さ調整することができます。レバーを上げるとロックが解除され、レバーを下げるとロックが掛かります。アームサポートの脱着は、レバーのロック解除時に、アームサポートを引き上げて取り外す事ができます。

アームサポートの高さ調整



アームサポートの着脱

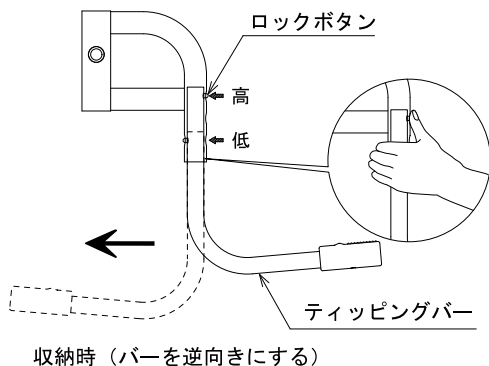
**注意**

- 高さ調整や脱着の際に、手を挟まないようご注意ください。
- 調整後は、左右のレバーがロックされているかを必ず確認してください。
- レバーに手提げ袋などを吊り下げないでください。
- アームサポートの上にテーブルを装着することはできません。

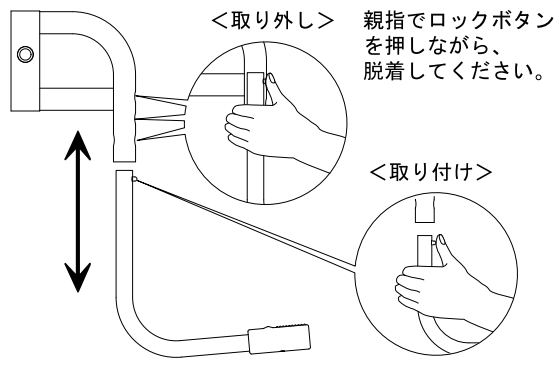
ティッピングバーの高さ調整と着脱

ティッピングバーの高さ調整は、ロックボタンを指で押しながら解除して、上下に動かして調整します。ロックボタンの穴位置を「低」にした場合、後方への転倒を確実に防ぐことができますが、段差を乗り越える際には、ウィリーの角度が制限されますので、ご注意ください。また、ロックボタンの穴位置が「低」の場合でも、ティッピングバーを回転（収納時の状態に）させることで段差を乗り越え易くすることができますが、その後に、必ずバーの向きを元に戻す事を忘れないようご注意ください。

高さ調整と収納時の（ボタン位置）について



ティッピングバー着脱



注意

- ロックボタンの頭が出ているか、確認してください。
- ティッピングバーのボルトが緩んでいないか確認してください。

車椅子の保守・点検

★タイヤの溝は充分に残ってますか？

タイヤの溝の減りが激しいと、走行性やブレーキの効きが悪くなるので、交換が必要です。また、タイヤやキャスターにひび割れが生じた場合にも、交換が必要です。直ちに使用を中止し、お買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★駐車用ブレーキはしっかりと効きますか？

ブレーキの効が悪くなったと感じたら、ブレーキの取り付けネジの緩み、ブレーキ本体のガタなどが無いかをご確認ください。もし異常がございましたら、直ちに使用を中止し、お買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこからその音が発生しているかよく確認してください。ブレーキワイヤーが車輪に擦れていたり、ベアリングの油分が不足しているなどの原因が考えられます。直ちにお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★四輪が地面に接地していますか？

前輪の二輪と、後輪の二輪が接地しているかよく確認してください。四点接地していない場合、フレームのゆがみやネジの緩みなどの原因が考えられます。直ちにお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★ネジ類が、しっかり固定されていますか？

車いすにガタツキがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。直ちに使用を中止し、お買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★まっすぐに進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。
進行方向が左右のどちらかに自然に曲がってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。
直ちに買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

★キャストや後輪(タイヤ)は、しっかり固定されていますか？

キャストや後輪(タイヤ)を留めているボルトは緩んでいませんか？ 緩んでいると、使用中に突然これらが外れて転倒するなど、大変危険です。十分ご確認の上、しっかりと固定してください。

★ワイヤーは切れていませんか？

ティルトのワイヤー、制動用ブレーキのワイヤーは切れていませんか？ ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。安全のためにワイヤーは1年に1度定期的に点検をし、必要に応じて交換してください。

- スパナやドライバーなどの工具を使用して締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
- 異常が見つかった場合は、ご使用を中止してください。

★シートに破損やたるみは、ありませんか？

シートは湿気に弱いので、雨に濡れる場所に放置したり、長時間続けて使用すると、破損・たるみが発生します。破損・たるみが著しい場合は、座り心地のよい姿勢を保てなくなりますので、交換をおすすめします。

★車いすやシート類の洗浄には、水、お湯、中性洗剤をご使用ください。

- 車いすが汚れた場合は、水またはお湯で薄めた中性洗剤で汚れをよく落としてから、乾いた布やタオルで、洗剤をよく拭き取ってください。
(吸水性のある布でやさしく拭き取ることがポイントです)
強いオゾンによる消毒は、タイヤの変色や劣化の原因となりますのでお止め下さい。
洗浄後は、よく乾燥させてください。乾燥させないと、カビやサビの原因となります。
- シート類の洗浄も車いすと同様、水またはお湯で薄めた中性洗剤で汚れをよく落としてから、固く絞った蒸しタオルで、洗剤をよく拭き取ってください。
洗剤をよく拭き取った後は、日陰で吊り干ししてください。
塩素系漂白剤は、使用しないでください。

車いすの廃棄について

不要になった車いすは、販売店に処分を依頼するか、自治体の大型ゴミの処分方法に合わせて回収してもらってください。



警告

- ⓧ 不法投棄は、絶対にしないでください。
ガスプリングを処理せずに廃棄すると、
爆発事故を引き起こします。
(P13の「ガスプリングについて」参照)

ガススプリングについて

★ガススプリングの取り扱い上の注意



注意

- 摺動部に注油は一切不要です。注油するとシールの耐久性をなくし、油漏れの原因となります。
- 衝撃を加えることは絶対に避けてください。油漏れ、動作不良、破損の原因となります。
- 分解は絶対にしないでください。高圧ガスが封入されていますので、分解すると非常に危険です。
- 曲げ荷重の負担がかかりますと、曲げ方向の剛性が少ないので、取り付けの精度によりロッドが曲がり、動作不良の原因となります。
- ピストンロッドおよびシリンダーに打痕をつけますと、シールの寿命を縮めたり、動作不良の原因となります。
- 周囲の気温があまりに高い、または低い場所でのご使用はなるべく避けてください。
使用条件・保存条件（-20℃～80℃）
- 雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所でのご使用は避けてください。

★ガススプリングの廃棄方法

廃棄する際は、次の注意事項を守ってください。この部品は、窒素ガスが高圧で封入してあるため、ガスを抜かずに処理すると、爆発によりけがをすることがあります。

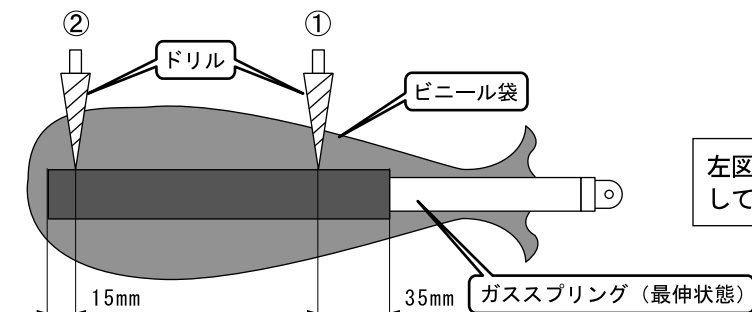


注意

- 押しつぶさない。
- 切断しない。
- 図以外の場所に孔を開けない。
- 火には入れない。

★廃棄の手順

1. ガススプリングを、最伸状態にしてください。
2. ビニール袋をかぶせ、その上から2～3mmのドリルで①の孔を開け、ガス・油を抜いた後、②の孔を開けてください。（※注意 必ず手順を守ってください。）
3. ビニール袋を使用しない場合は、金属粉・油が飛びますので安全メガネを装着し、怪我の無いように十分ご注意ください。下図の要領で孔を開け、ガス抜きをしてから廃棄してください。
 - 薄手の手袋を着用して、作業を行ってください。
 - 廃棄作業の途中で異常が見つかった場合は、作業を中止してください。



左図の要領で孔をあけ、ガス抜きをしてから廃棄処分してください。

仕様

<品名>

DERRARE (でら〜れ)

<規格> 標準仕様 / スイングアウト仕様

座幅		(mm)	400
前座高さ		(mm)	395
後座高さ		(mm)	395
座奥行き		(mm)	400
アームサポート高さ		(mm)	255~335(5段階)
フットサポート高さ		(mm)	319~419(6段階)
バックサポート高さ		(mm)	600
全高		(mm)	703~986
全長		(mm)	991~1243
全幅		(mm)	625
重量		(kg)	18.8(標準仕様) / 19.2(スイングアウト仕様)
耐荷重		(kg)	100
折りたたみ時	全高	(mm)	645
	全長	(mm)	930
	全幅	(mm)	625
キャスタ		(inch)	6
後輪(タイヤ)		(inch)	22
フレーム		(材質)	アルミ・スチール
座面(ソリッドシート)		(材質)	ポリアミド
背シート		(材質)	ポリエステル(黒)
クッション		(材質)	ポリエステル(黒)
フットサポート	機能	可	着脱・高さ調節
		不可	前後調節・角度調節
アームサポート	機能	可	着脱・高さ調節
		不可	跳ね上げ・前後調節
バックサポート	機能	可	張り調節・角度調節
キャスタ	機能	不可	高さ調節・垂直調節
後輪(タイヤ)	機能	不可	高さ調節・前後調節
押手	機能	不可	着脱・高さ調節
ティッピングバー	機能	可	着脱・高さ調節
座面	機能	可	奥行調節・張り調節
		不可	着脱

※ 改良・改善の為、予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。
この取扱説明書は大切に保存しておいてください。

■製造元・総販売元

■販売特約店



カナヤママシナリー株式会社
HUMAN SOLUTION

ISO9001、ISO14001 認証工場

荻生工場 〒938-0801 富山県黒部市荻生388-1 TEL 0765-57-3888 FAX 0765-57-3266

2011年 11月 (初版)